



SESERAGI—MISHIMA  
ROTARY CLUB  
WEEKLY REPORT

クラブ  
週報

2024～2025年度 RI会長 ステファニーA.アーチック  
RIテーマ ロータリーのマジック

クラブテーマ「ロータリーの理解を深め、地域社会にロータリーのマジックを広めよう」

会長 仲原実圭 幹事 原 兄多

第1593回例会  
2025. 2. 7(金)晴

司会：高村勝則君

ロータリーソング「奉仕の理想」 指揮：杉山寿美子君

事務所 三島市泉町9-8 1F南  
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210  
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

## 会長挨拶

会長 仲原実圭君

先週ウィンタースポーツ同好会で岩手県に行ってきました。スキー、スノーボードが対象ですが、この同好会は10年以上前からあると思います。が、広告活動もあまりしていないので認知度も低く現在参加者は4名程度です。近年若い会員も増えてきているので是非参加いただければ嬉しいことと思います。

ロータリー活動月間の2月は、平和構築と紛争予防月間です。

・平和な環境をつくるロータリー

人道的組織として、平和はロータリーの使命の礎となるものです。私たちは、地域社会での平和構築のために人びとが協力すれば、その変化が世界的な影響を生むと信じています。

ロータリー会員は、奉仕プロジェクトや平和フェロー・奨学生への支援を通じ、貧困、差別、民族間の衝突、教育機会の欠如、リソースの不平等な配分といった紛争の根底にある問題に取り組むために行動を起こしています。

・平和の推進におけるロータリーの4つの役割

実践者：疾病との闘い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地域経済の発展という分野でのロータリーの活動は、平和な社会への最適な条件を作り出します。

教育者：ロータリー平和センターは、効果的な平和の推進者となる1,700人の平和フェローを育成してきました。卒業したフェローは、政府、教育、国際機関などで平和分野のキャリアを築いています。

調停者：ロータリー会員は、ポリオの脅威にさらされた地域のすべての子どもにワクチンを投与するため、紛争地域における人道的停戦の交渉を行ってきました。

提唱者：ロータリー会員は、平和構築や紛争後の復興プロセスに積極的にかかわり、重要な役割を果たしています。

・ロータリーは平和が可能となる環境を築いています。

平和は「人」から始まると考えるロータリーは、毎年130口までの平和フェローシップ(奨学金)を通じて、世界平和と開発の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築いています。毎年、ロータリー平和センター提携大学で学ぶフェローが世界中から選ばれ、ロータリーからフェローシップ(全額支給の奨学金)が授与されます。フェローシップには、授業料・入学金の全額、滞在費(宿舍・食費)、往復航空券、インターンシップと実地研修の費用が含まれます。

## ロータリー平和センター提携大学



2002年に創設されて以来、ロータリー平和センターは1,800人以上のフェローを輩出してきました。これらのフェローは現在、140カ国以上で活躍し、政府、NGO、教育、研究機関、平和維持および法執行機関のほか、国連や世界銀行といった国際機関でリーダーシップを発揮しています。ロータリー平和フェローが、世界各地の地域社会で変化をもたらすにあたって、プログラムで学んだことをどのように生かしているかを紹介します。



## 出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	34/41	82.93%	37/41	90.24%
今回	31/40	77.50%	会員総数	41名

### 欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

石井君、伊丹君、岡君、土屋君、成田君、野村君、山口君、吉村君、米山君

(\*出席免除会員の欠席者 片野君)

## 幹事報告

幹事 原兄多君

1. 本日、例会終了後に理事・役員会を開催します。  
来週は昼例会です。  
地区より委囑状が届きました。  
服部光弥君が奉仕活動委員会、原兄多君がポリオプラス小委員会です。

## 卓話

### 研修会報告

クラブ管理運営委員会 服部 光弥君

「ロータリーの理解を深め、地域社会にロータリーのマジックを広めよう」この運営方針のもと、入会5年未満そして本年度、4奉仕委員長、会長エレクト・会長ノミニエを対象とした「クラブ研修会」を米山委員長のご協力のもと、総勢23名の受講生を迎えて開催させていただきました。本日は受講生10名より研修会報告をさせていただきます。

宮澤友一君

11月29日に研修会に参加させて頂きました。  
印象に残っているのは3K(来て、食って、帰る)です。  
昨年1月に入会し、まもなくIM・35周年事業など意味もわからずバタバタした状況からのロータリー活動のスタートでした。  
一年近くが経ち、中だるみではないですが最近はもしかしたら3Kの状態になっていたのかもしれない。  
まだまだ、わからないことも多いですが諸先輩方に教わり、何か楽しみを見つけながらロータリー活動を楽しんできたいと思います。

杉橋 聡君

令和6年11月29日に実施されたクラブ研修受講を報告するにあたり、まず思い立つことは「思い出すのに一苦労」という事です。記憶力の欠如という点は私自身の資質の問題ですので、何ら申し開きもございません。かつて司法書士試験を受験していた時代に、予備校の講師から言われた「勉強というのは、満杯の風呂桶の水をザルを使って別の風呂桶に移し替えるような覚悟をもってあたれ」という言葉を思い出します。これから続くロータリー人生の中で、常に学ぶ姿勢を持ち続け、ロータリーの風呂桶を満杯にしていきたいと思っております。

新井博薫君

入会して半年が経ちますが、ロータリークラブの分からない事がたくさんありました。この研修を通じてロータリーの使命、またロータリアンとして奉仕をしていく目的を理解することができました。この研修で全てを理解することは難しいですが基礎の部分も含め、最高のスタートが切れたと思います。このような機会を作って頂いたクラブ管理運営委員会の皆様ありがとうございました。

渡邊仁也君

ロータリークラブに入会して間もなく、2回目の誕生日を迎えます。この2年間、例会や各種委員会の事業に参加させていただきました。何となくですが、ロータリークラブの活動をわかった気になっていました。しかし、今回の研修に参加させていただき、世界レベルのロータリークラブの活動を学ぶことができました。

心に残った言葉は会場の壁に貼ってあった

「人は得る物で生計を立て、与える物で人生を築く」です。

貴重なお時間、ありがとうございました。

加藤貴康君

私は一昨年7月の入会から一年半経ちます。5年前までは東京在住で仕事をしており、当時の経営者仲間との交流ではロータリークラブの存在を認識することはありませんでした。三島に戻ってご縁をいただき、今はこうしてロータリークラブに関わらせていただいています。  
私はプライベートでボランティア活動に取り組んでいますが、クラブでは日ごろの活動や地区大会などイベントでも『奉仕活動の質の高さ』を感じてきました。  
今回のクラブ研修は、そのロータリークラブの成り立ちや倫理観なども整理してご説明いただき、体系的に捉えられる貴重な機会でした。このようなテーマでまとめた時間を設けていただけることでロータリークラブやその活動への理解が徐々にでも深まると思っています。大変ありがたい取り組みです。今後の開催もご検討いただければありがたいです。

土屋和彦君

せせらぎロータリークラブに入会4年目の土屋和彦です。  
11月29日に開催されてロータリークラブの歴史及び目的についての勉強会を受講しました。

ロータリーの設立はシカゴロータリークラブ(1905年)青年弁護士ポールハリスの発案で立ち上げられました。

最初の目的

- 1 本クラブ会員の事業の利益の増大
- 2 通常社交クラブに付随する親睦及びその他の特に必要と思惟する事項の推進。

3 シカゴ最大の利益の推進、及び市民の誇りと忠誠とを市民の間に広めることでしたが入会を勧誘した時に、互惠主義の説明を聞いたドナルドカーターはエゴイズムの世界にはおられないと断りその後追加されたのが、地域社会に対する貢献、公共への奉仕が追加され従来の親睦と相互扶助に奉仕が加わりロータリークラブの方向性が定まりました。

ロータリーは奉仕団体だと言われますが、それは正解ではない。ロータリーは奉仕する団体奉仕する人を育てる団体だと言えます。

そしてその心が高められた人たちが、世のため人のために何か奉仕をした結果、世界の理解と平和に貢献していくと言う事になります。

超私の奉仕は、ロータリーが提唱する哲学です。これ自己犠牲を推進しているものではありません。利己に偏りがちな人間が、利他の精神を尊重し、その2つのバランスを取っていかうとすると、人間として、職業人としての成長があるのだということです。

私なりにロータリーの団体活動について考える良い勉強会だと思いました。この勉強会でロータリーの素晴らしさや、人間性を学ぶ事が出来たことに感謝しております。

これからも色々な事を勉強させて頂きたいと思っております。よろしくお願いいたします。

## おめでとう

会員誕生日 2月6日 加藤貴康君  
入会記念日 12月27日 矢岸貞夫君



## 委嘱状



服部光弥君 原 兄多君

## 2月度理事役員会

日時 2025年2月7日(金)19時30分～20時00分  
具竹(例会場)

(理事)仲原、服部、高橋、原、杉橋、遠藤、大村、藤川  
(役員兼任)、山本、高村、大川

(役員)小島(オブザーバー) ……クラブ懇話会より  
議事録

1. 会長挨拶(仲原会長)
2. 熱狂フェスへの出店について(青少年奉仕委員会)  
→ 一同異議なし(承認)  
米山奨学生受け入れの登録について(副会長)  
→ 一同異議なし(承認)
3. 連絡事項  
ソサイチサッカーイベントについて(社会奉仕委員会)



## スマイルボックス

(1月31日のスマイル)

米山晴敏君:カンボジアで感動をもらってかえって来ました。同行の皆さんおつかれ様でした。

野村諒子君:カンボジアに行ってきました。一緒に行かれた皆さん、お世話になりました。現地に行くと学ぶことがたくさんありました。子ども達の笑顔と、バイクで出勤する姿に元気をもらって帰りました。また行きたいです!

山田定男君:大変な国、無事帰国しました。

高村勝則君:国際奉仕事業・カンボジア、初めて行ってきました。貴重な経験ができました。スマイルします。

高橋麻子君:カンボジアでは多くの学びがありました。ありがとうございました。

服部光弥君:国際奉仕プロジェクト訪問団の皆様、大変お疲れ様でした。

山口辰哉君:カンボジアでの奉仕活動にご参加の皆さま、お疲れさまでした。

大川泰君:カンボジア事業、参加してくれた方大変お疲れ様でした。無事日本帰国にスマイルします。

芹澤宏昌君:カンボジア支援事業参加の皆様、大変おつかれさまでした。

藤川智徳君:本日早退します。宜しくお願いします!

石井司人君:①本日のテーブル会を当方のベジテーブルで予約いただきありがとうございます。②早退させてください(10分ほど前に)

中村徹君:カンボジア支援事業参加の皆様、先週はお疲れ様でした。昨年横浜で開催された第53回ロータリー研究会に行ってきましたが、ロータリーの友2月号の19ページから25ページにわたりレポートされています。一読ください。

成田美幸君:みな様お久しぶりです。2月16日(日)にゆうゆうホール小ホールで行う三島市民演劇祭に出演します。私は18:10～のS木道場から出演します。チケットは1000円、ぜひ見に来てください!

(2月7日のスマイル)

矢岸貞夫君:久しぶりの例会出席です。スマイルします。

新井博薫君:RLIがんばります。

山本良一君:矢岸会員の緑十字賞受賞おめでとうございます。交通事故のない三島を守ってください。

三輪暁生君:1月31日にEテーブル会を開催させて頂きました。参加ありがとう御座います。



幹事報告

幹事 原兄多君

1. 本日、例会終了後に理事・役員会を開催します。  
来週は昼例会です。  
地区より委嘱状が届きました。  
服部光弥君が奉仕活動委員会、原兄多君がポリオプラス小委員会です。

RI会長エレクトが2024-25年度会長テーマを発表  
国際ロータリーのステファニー・アーチック会長エレクトは、2024-25年度会長テーマ「ロータリーのマジック」(The Magic of Rotary)を発表し、多くの人びとを救うロータリーの力を認識してこれをさらに広げるよう呼びかけました。「誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけでポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません」。1月8日、ロータリー国際協議会でアーチック会長エレクトは次期地区ガバナーにこう語りました。「それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック(魔法)を生み出すのです」  
マクマリー・ロータリークラブ(米国ペンシルバニア州)の会員であるアーチック会長エレクトは、ドミニカ共和国で浄水器の設置活動に携わったときにロータリーのマジックを目にしました。そのとき、汚い水がフィルターに入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。「少年の一人が私の袖をつかんで、『もう一度魔法を見せてと言ったのです』とアーチック氏。「もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し、現地のリーダーと協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わるといふことを、少年たちは知っていました。私が少しでもその力になればと知ったことで、私の人生も変わったのです」アーチック氏は、ロータリーの行動計画を推進し、継続と変化のバランスを取り、平和のために活動するよう会員に促しました。2025年には「分断された世界を癒す」をテーマに会長主催平和会議を開催する予定となっています。ロータリーには、平和センターのネットワークを通じて平和を促進してきた長い歴史があると、アーチック氏は述べました。世界各地の名門大学に拠点を置く平和センターは、現在140カ国以上で活躍する約1,800人の平和フェローを育ててきました。トルコのイスタンブールにあるバーチェシヘル大学に設置される最新の平和センターでは、2025年に第1期フェローが学業を開始します。「ロータリー平和フェローシップは、紛争を終わらせ、予防するきっかけとなる平和・開発の専門家を世界各地で育成するために、20年以上前に始まりました」とアーチック氏。「この会議は、ロータリーの平和活動に焦点を当て、ともに学ぶ機会となります」アーチック氏はさらに、ポリオ根絶へのコミットメントについても繰り返し触れ、ポリオプラス・ソサエティへの参加や、各地区でのソサエティの創設など、ポリオ根絶のために全力を尽くすよう次期ガバナーに求めました。「地元の議員や政府のリーダーに連絡し、ポリオが現在も脅威であることを伝えて、ポリオ根絶への支援を呼びかけてください。ポリオは今も私たちの最優先事項であり、最大限のコミットメントが必要とされます。成すべき重要な仕事はまだ多くあります」また、継続と変化のバランスを取ることの必要性も強調し、どちらもロータリー行動計画の原動力であると述べました。「この計画は、ロータリーの最善のアイデアを捨てるのではなく、それを土台として築いていくもの」とアーチック氏。「私たちは、バランスを取るという難題に直面しています。自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません」さらに、クラブでの体験を会員にとって魅力的なものとするために必要な対策を取るよう、ガバナーに求めました。「これは、皆さんの地区でのやり方を変えることを意味するかもしれません。地区が過去50年間に同じ方法で物事を行ってきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。地区内のクラブが活発に活動していない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ているのかもしれません。クラブや地区が長年変わっていないからといって、誰も変化を望んでいないわけではありません」アーチック氏は、好ましい変化をもたらす一つの方法は、クラブで多様性、公平さ、インクルージョン(DEI)の原則を取り入れることであると述べました。「行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えていただけることを願っています。たとえば、地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプの人であっても」とアーチック氏。「DEIを受け入れれば、共通の目的のために結束しやすくなります。ともに献身し、力を注げば、ロータリーは最も効果的で時代に即した存在になることができます」

1月度理事・役員会報告

- 日時 2025年1月17日(金)19時30分～20時00分  
LINE理事会  
(理事)仲原、岡、服部、高橋、原、杉橋、遠藤、大村、藤川  
(役員兼任)、山本、高村、大川、伊丹  
(役員)小島(オブザーバー) ……クラブ懇話会より  
議事録  
1. 会長挨拶(仲原会長)  
2. プログラム変更について(プログラム委員会)  
別紙のとおり → 一同異議なし(承認)  
3. 春の家族会の開催について(親睦活動委員会)  
別紙のとおり → 一同異議なし(承認)  
4. 連絡事項  
二島志幸(オブザーバー)の協力について(青少年奉仕委員